
施設整備スケジュール

1 施設整備スケジュール

期間

- 東北部クリーンセンターが耐用年限を迎える令和18(2036)年度以降の令和22(2040)年度までの施設整備スケジュールを検討する。

※ 北部クリーンセンターが東北部クリーンセンターの6年後(令和24(2044)年度)に大規模改修工事後15年となるが、その後継施設の整備については、2030年頃(概ね5年後)に予定される次期プラン見直し時に検討する。

クリーンセンター

竣工から20年目を目途に大規模改修工事を実施し、15年の延命化を図る。

	施設名称	施設整備スケジュール
1	南部クリーンセンター 稼働開始: 令和元年10月 焼却: 500t/日、ごみ発電: 14,000kW、 破碎: 180t/日、バイオガス化: 60t/日、 バイオガス発電: 1,000kW	稼働20年目(令和20(2038)年度)を目途に 大規模改修工事を実施し、延命化を図る。
2	北部クリーンセンター 稼働開始: 平成19年1月 焼却: 400t/日 ごみ発電: 8,500kW	稼働後20年目の令和8(2026)から9(2027)年度に、 大規模改修工事を実施し、少なくとも15年の延命化を図る。
3	東北部クリーンセンター 稼働開始: 平成13年4月 焼却: 700t/日、破碎: 80t/日 ごみ発電: 15,000kW	稼働後20年目の令和2(2020)から3(2021)年度にかけて、 大規模改修工事を実施しており、 令和18(2036)年度末頃に耐用年数を迎えるため廃止する。
4	次期クリーンセンター 稼働開始: 令和19年度予定 処理能力・発電能力 未定	東北部クリーンセンターの後継施設として 令和19(2037)年度稼働を目指して整備する。

1 施設整備スケジュール

資源物回収拠点

	施設名称	施設整備スケジュール
5	資源物回収拠点	上京リサイクルステーションのような、多品目を回収対象とし、利用しやすい(土日も利用可、自動車での搬入可など)拠点を複数配置していく。また、利用者増、資源物の回収量増に向けて、新たな品目や効果的な併設機能を検討していく。

(参考施策)

上記の拠点の他、現行の主たる拠点回収体制である小規模の拠点回収についても、公共施設や商業施設等の一角に回収ボックスを配置して回収する拠点配置を継続する。ただし、現在、課題となっているリチウムイオン電池内蔵製品の回収体制の充実を図るため、その受入品目となる「小型家電」の回収体制を見直す。

資源ごみ選別・圧縮梱包施設

	施設名称	施設整備スケジュール
6	南部資源リサイクルセンター 稼働開始:平成11年4月 処理量:60t/日(缶・びん・ペットボトル)	コンベヤ等の小規模な設備の集合体であるため、大規模改修工事は実施せず、毎年の計画的な整備により稼働を継続する。
7	北部資源リサイクルセンター 稼働開始:平成19年1月 処理量:40t/日(缶・びん・ペットボトル)	
8	横大路学園 稼働開始:平成19年12月 処理量:20t/日(プラスチック類)	

1 施設整備スケジュール

廃食用油燃料化施設

	施設名称	施設整備スケジュール
9	廃食用油燃料化施設 稼働開始:平成16年6月 燃料化量:5,000L/日	施設の老朽化の現状に鑑み、現在、市において施設のあり方を検討しているところであり、引き続き検討する。

東部山間埋立処分地

	施設名称	施設整備スケジュール
10	東部山間埋立処分地 使用開始:平成12年4月 埋立容量:450万m ³	今後50年にわたって安定的に埋め立て処分できるよう、計画的に整備・運用する。 また、少しでも長く使用できるよう、延命策の検討、大規模災害発生時における埋立処分の実施に備えた調査・検討を実施する。

(参考) 京都市のごみ処理施設

[凡例]

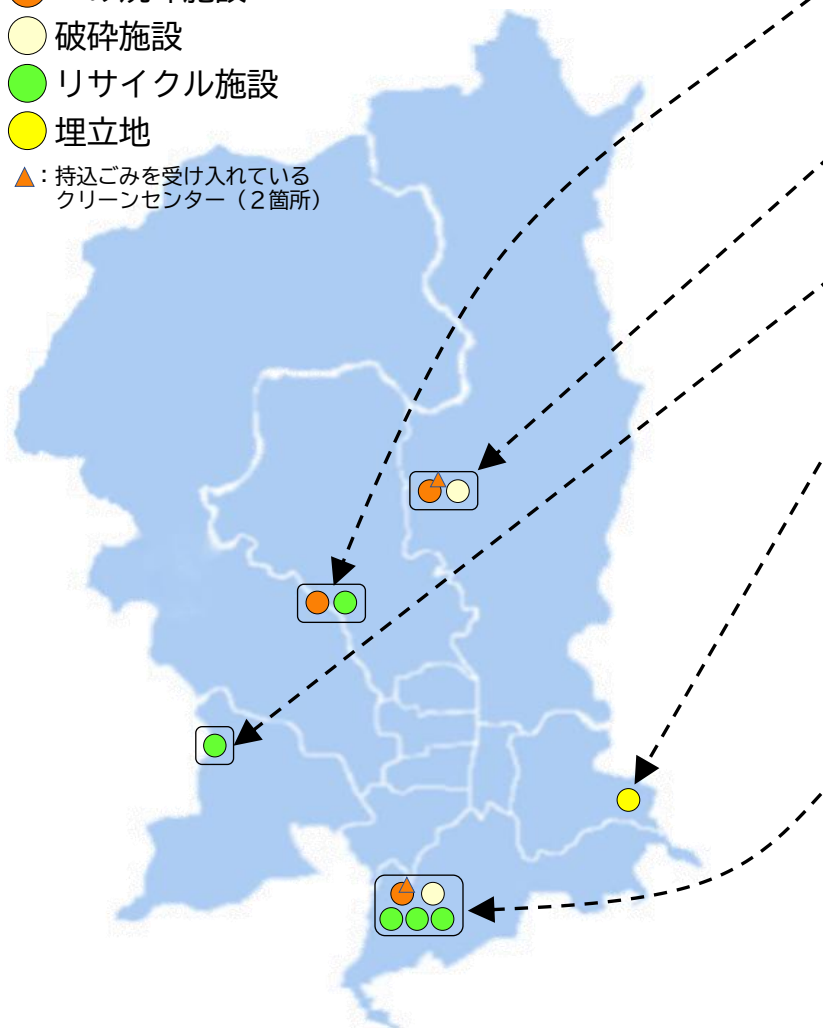
● ごみ焼却施設

○ 破碎施設

● リサイクル施設

● 埋立地

▲ : 持込ごみを受け入れている
クリーンセンター (2箇所)



北部クリーンセンター (H19(2007)年稼働開始)	焼却 400 t/日 ごみ発電 8,500kW
(併設)北部資源 リサイクルセンター	缶・びん・ペットボトルの 選別 40 t/日
東北部クリーンセンター (H13(2001)年稼働開始)	焼却 700 t/日 ごみ発電 15,000kW
	破碎 80 t/日
次期クリーンセンター 候補地 (旧西部クリーンセンター)	現在はプラスチック類の 中継施設として運用中
東部山間埋立処分地 (H12(2000)年供用開始)	埋立容量 450万m ³ 残容量 212万m ³ (約50年分)
南部クリーンセンター (R1(2019)年稼働開始)	焼却 500 t/日 ごみ発電 14,000kW
	破碎 180 t/日
	バイオガス化 60 t/日 バイオガス発電 1,000kW
南部資源リサイクルセンター (H11(1999)年稼働)	缶・びん・ペットボトルの 選別 60 t/日
横大路学園 (H19(2007)年稼働)	プラスチック類の 選別 20 t/日
廃食用油燃料化施設 (H16(2004)年稼働)	BDFの製造 5,000 L/日